

農技第1658号
令和7年9月8日

関係各位

兵庫県病虫害防除所長

令和7年度病虫害発生予報第5号を発表します。

令和7年度病虫害発生予報第5号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
水稻	いもち病（穂いもち）	平年並	平年並
	トビイロウンカ	平年並	平年並
	斑点米カメムシ類	やや多	やや多
	コブノメイガ	平年並	平年並
大豆	べと病	やや少	やや少
	葉焼病	やや多	やや多
	吸実性カメムシ類	やや多	やや多
野菜等共通	ヨトウガ	平年並	平年並
	ハスモンヨトウ	多	やや多
	シロイチモジヨトウ	多	多
	オオタバコガ	やや多	平年並
	ハイマダラノメイガ	多	多
果樹等共通	果樹カメムシ類	平年並	平年並

太文字の病虫害：向こう1か月の間、発生状況に特に注意を要する病虫害を示す。

* 気象の概況

近畿地方 1 か月予報
(9月6日から10月5日までの天候見通し)

令和7年9月4日
大阪管区气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

近畿地方 1か月予報 (09/06~10/05)		
2025年09月04日14時30分 大阪管区气象台 発表		
特に注意を要する事項	向こう1か月は気温の高い状態が続くでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 09/06~10/05	天候	天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率80%です。
	降水量	降水量は、少ない確率50%です。
	日照時間	日照時間は、多い確率60%です。
1週目 09/06~09/12	気温	1週目は、高い確率80%です。
2週目 09/13~09/19	気温	2週目は、高い確率80%です。
3~4週目 09/20~10/03	気温	3~4週目は、高い確率70%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう1か月 09/06~10/05	10 10 80
		1週目 09/06~09/12	10 10 80
		2週目 09/13~09/19	10 10 80
		3~4週目 09/20~10/03	10 20 70
降水量	近畿地方	向こう1か月 09/06~10/05	50 30 20
日照時間	近畿地方	向こう1か月 09/06~10/05	10 30 60

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

根拠中の記号

- (+) : 発生量を多くする要因
- (-) : 発生量を少なくする要因
- (±) : 発生量が平年並になる要因

水稻

1 【いもち病（穂いもち）】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は高い (±)
降水量は少ない (-)

2 【トビイロウンカ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（8月に予察灯へ初誘殺）(±)
気象予報 気温は高い (+)

3 【斑点米カメムシ類】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多** (+)
気象予報 気温は高い (+)
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本田内の雑草を除去するとともに、本虫種の発生源にならないように休耕田、放置田の雑草管理を適正に行う。
 - イ 基幹防除後に本虫種の発生が確認された場合は、臨機防除を実施する。
 - ウ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。
 - エ 防除にあたっては、令和7年度病虫害発生予察注意報第1号（令和7年7月17日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1384>）を参考とする。

4 【コブノメイガ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は高い (+)

大豆

1 【べと病】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 やや少 (-)
気象予報 気温は高い (-)
降水量は少ない (-)

2 【葉焼病】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多** (+)
気象予報 気温は高い (+)
降水量は少ない (-)
- (3) 防除上の留意点
 - ア 被害茎葉は、次年度以降の感染源になるため、圃場外に持ち出し、適切に処分する。
 - イ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

3 【吸実性カメムシ類】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多** (+)
気象予報 気温は高い (+)
- (3) 防除上の留意点
 - ア 着莢期に成虫が飛来し、吸汁や産卵をする。成虫は好適な餌がある場所を求めて移動するが、卵からふ化した幼虫はそのまま滞在し、黄熟期まで加害し続けるため、薬剤散布は着莢期から10日間隔で2～3回実施する。
 - イ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布する。

野菜等共通

1 【ヨトウガ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並 (±)
気象予報 気温は高い (+)

2 【ハスモンヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は**やや多** (+)
気象予報 気温は高い (+)
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種の幼虫は、キャベツ、レタス、ピーマン、ナスをはじめとする多くの野菜類を加害する。
 - イ 卵塊や集団でいる若齢幼虫を見つけたらすみやかに捕殺する。
 - ウ 中齢以降の幼虫には、薬剤による防除効果が低くなるので、早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。
 - エ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布する。

3 【シロイチモジヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は**多**（+）
気象予報 気温は高い（+）
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種の加害植物は、ネギ、キャベツ、ピーマン、ナスをはじめとする多くの野菜類のほか、豆類、花き類など広い範囲に及ぶ。
 - イ 本種は茎葉の柔らかい部分を好んで食害する性質があり、定植直後の被害には特に注意する。
 - ウ 薬剤防除を行う場合は、病虫害・雑草防除指導指針、防除情報等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。
 - エ 防除についての詳細は令和7年度病虫害発生予察防除情報第6号（令和7年6月20日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1362>）を参考とする。

4 【オオタバコガ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並（±）
気象予報 気温は高い（+）
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種の加害植物は、ピーマン、ナス、トウモロコシをはじめとする多くの野菜類のほか、花き類など広い範囲に及ぶ。
 - イ 果実や花蕾に穿入した幼虫及び中齢以降の幼虫には、薬剤による防除効果が低くなるので、早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。
 - ウ 成虫の産卵、飛来防止による防除手法として、防虫ネット、黄色灯、性フェロモン製剤がある。
 - エ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布する。
 - オ 防除についての詳細は令和7年度病虫害発生予察防除情報第5号（令和7年5月20日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1346>）を参考とする。

5 【ハイマダラノメイガ】

- (1) 予想：発生量 **多**
- (2) 根拠：発生現況 誘致植物*（クレオメ）での発生量は**多**（+）
気象予報 気温は高い（+）
*対象とする害虫が好む植物で、発生状況を調査するために用いられる。
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種はアブラナ科野菜を特異的に加害する。
 - イ 幼虫が生長点を食害するため、発生を確認してからの防除では手遅れとなる。育苗期や定植直後の予防的防除に努める。

ウ 播種・定植時や育苗期に、粒剤や灌注剤で薬剤処理をした場合でも、その後の被害発生に注意する。天候等の条件により期待した防除効果が得られないこともあるので、本圃での薬剤防除の準備をしておくことが望ましい。

エ 薬剤防除を行う場合は、病虫害・雑草防除指導指針、防除情報等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

オ 防除についての詳細は令和7年度病虫害発生予察注意報第2号（令和7年7月24日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1390>）を参考とする。

果樹等共通

1 【果樹カメムシ類】

（1）予想：発生量 平年並

（2）根拠：発生現況 予察灯への誘殺数は平年並～少、
フェロモントラップへの誘殺数は平年並～やや少（±）

気象予報 気温は高い（+）

その他 チャバネアオカメムシ等果樹を加害するカメムシ類の発生量には隔年性があり、本年は発生が少ない年に該当する。

防除上の留意点に記載している内容のほか、兵庫県総合防除計画を参照してください。

* 兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

* 病虫害・雑草防除指導指針 農薬の検索は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/noyakusearch/hyogo>

* 病虫害・雑草防除指導指針 参考資料は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

* この情報は、兵庫県病虫害防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>

兵庫県病虫害防除所 0790-47-1222

「兵庫県病虫害防除所」X（旧Twitter）にて情報発信中。

発生予察情報など病虫害に関する情報をいち早く提供しますので、フォローをお願いします。

Xアカウント（https://twitter.com/hyogo_boujoshou）

